

1群単位の申請方法のコツ

～看護研修認定委員会からのメッセージ～

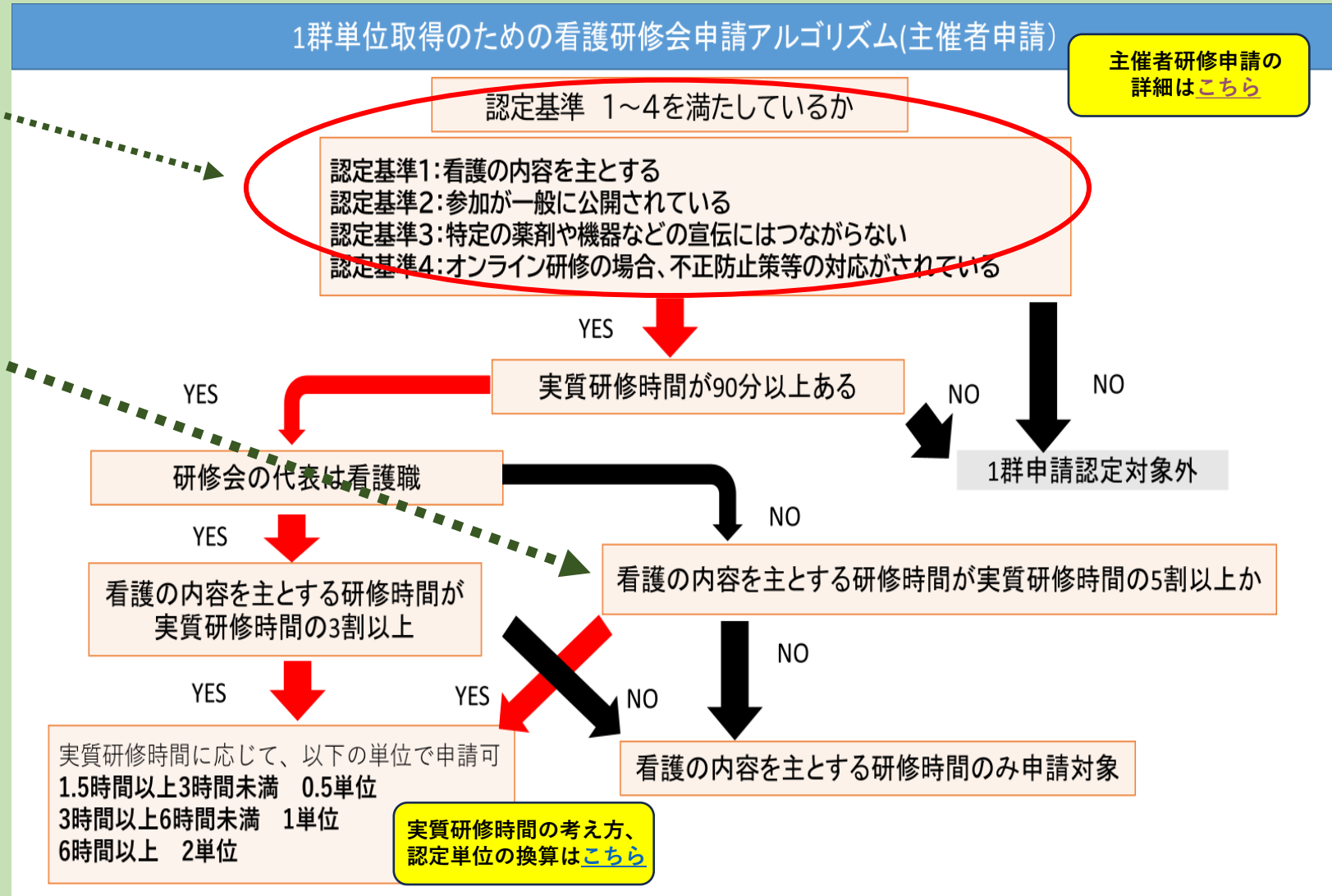
- 本委員会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための第1群看護の研修会の申請を受け、審査を行っています。
- 委員会の基本姿勢として、皆様から申請された研修会を、出来るだけ第1群看護の研修会として、認定していきたいという考え方で審査に臨んでおります。
- そこで、研修企画をお考えの皆様に企画から申請までの流れをイメージしやすいようにお示いたします。

研修を企画する際には申請アルゴリズムで確認①

研修会を企画する際には認定基準の4点を確認ください

認定基準1「**看護の内容を主とする**」とは、看護職による講演や発表であり看護の内容です。糖尿病に関連するかどうかは問いません

※ただし、同時に、2群研修として、CDEJ認定機構に申請する場合、糖尿病に関連した内容のみが承認されますので、ご注意ください



研修を企画する際には申請アルゴリズムで確認②

研修会を企画する際には認定基準の4点を確認ください

認定基準2は、対象者が「院内職員だけ」などの研修会は認められません
認定審査承認後は学会ホームページ上に研修会の概要が掲示されますので、地域にかかわらず参加希望者を受け入れられるように、企画してください

全体の研修時間が90分以上あり、実質研修時間に応じて取得できる単位が変わります

1群単位取得のための看護研修会申請アルゴリズム(主催者申請)

主催者研修申請の詳細は[こちら](#)

認定基準 1~4を満たしているか

認定基準1:看護の内容を主とする
認定基準2:参加が一般に公開されている
認定基準3:特定の薬剤や機器などの宣伝にはつながらない
認定基準4:オンライン研修の場合、不正防止策等の対応がされている

YES

実質研修時間が90分以上ある

NO

NO

1群申請認定対象外

YES

研修会の代表は看護職

YES

看護の内容を主とする研修時間が
実質研修時間の3割以上

YES

実質研修時間に応じて、以下の単位で申請可
1.5時間以上3時間未満 0.5単位
3時間以上6時間未満 1単位
6時間以上 2単位

実質研修時間の考え方、
認定単位の換算は[こちら](#)

NO

看護の内容を主とする研修時間が実質研修時間の5割以上か

NO

看護の内容を主とする研修時間のみ申請対象

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」基本編

- ◆プログラムタイトルには回数または年度を表記します
- ◆WEB開催の場合はWEB研修であることの記載をします
- ◆プログラム上に記載されている演者・座長ほか全ての氏名・所属・職種を記載します
- ◆主催団体の代表者がjaden会員でない場合はプログラムに企画責任者として会員の氏名・職種を記載します

プログラム作成時の注意

研修会タイトルに回数or年度、WEB等を記載する

プログラム上に記載されている演者・座長ほかすべての氏名、所属、職種を明記する

主催団体の代表者がjaden会員でない場合は、プログラムに、企画責任者として会員の氏名・職種を記載する
※参加証も同様に記載する

主催・共催を明記する

プログラムの一例

研修会タイトル

例①：第〇回糖尿病看護研修会またはWEB研修会
例②：令和〇年度糖尿病看護研修会またはWEB研修会

日 時：20XX年or令和X年〇月〇日〇曜日
9時30分～11時10分

会 場：〇〇〇〇会議室やホールなど

参加費：〇〇〇円 or 無し

定 員：〇〇〇名（先着順・〆切日を添える）

スケジュール

総合司会：〇〇病院・施設名・職種・氏名

開会挨拶：時間（9時30分～9時35分）
所属施設名・職種・氏名

講演：時間（9時35分～11時05分）
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・職種・氏名

閉会挨拶：時間（11時05分～11時10分）
所属施設名・職種・氏名

企画責任者：所属施設・職種・氏名

【共催】

〇〇県糖尿病看護の会／日本糖尿病教育・看護学会
〇〇株式会社 など

看護の時間の考え方

主催者代表が看護職以外は全体の5割以上、看護職であれば全体の3割以上に看護の時間があれば研修全体を看護の時間と認める

※看護の時間とは主に看護職の発表時間、対応時間を指す

挨拶は研修時間に含まれない

オリエンテーションや質疑応答は研修時間にカウントできるため時間は詳細に記載する

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」短時間研修

最もシンプルなプログラム案

- ◆ 挨拶を抜いた研修時間が実質研修時間となり、研修会を承認できる一番短い時間が90分となります
- ◆ 看護1群単位0.5単位が取得できます
- ◆ 90分の講演全てを看護職が担当していれば、看護の時間の割合に注意する必要がなくなります

プログラム作成時の注意

研修会タイトルに回数or年度、WEB等を記載する

プログラム上に記載されている演者・座長ほかすべての氏名、所属、職種を明記する

主催団体の代表者がjaden会員でない場合は、プログラムに、企画責任者として会員の氏名・職種を記載する
※参加証も同様に記載する

主催・共催を明記する

プログラムの一例

研修会タイトル

例①：第〇回糖尿病看護研修会またはWEB研修会
例②：令和〇年度糖尿病看護研修会またはWEB研修会

日時：20XX年or令和X年〇月〇日〇曜日
9時30分～11時10分

会場：〇〇〇〇会議室やホールなど

参加費：〇〇〇円 or 無し

定員：〇〇〇名（先着順・〆切日を添える）

スケジュール

総合司会：〇〇病院・施設名・職種・氏名

開会挨拶：時間（9時30分～9時35分）
所属施設名・職種・氏名

講演：時間（9時35分～11時05分）
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・職種・氏名

閉会挨拶：時間（11時05分～11時10分）
所属施設名・職種・氏名

企画責任者：所属施設・職種・氏名

【共催】

〇〇県糖尿病看護の会／日本糖尿病教育・看護学会
〇〇株式会社 など

看護の時間の考え方

主催者代表が看護職以外は全体の5割以上、看護職であれば全体の3割以上に看護の時間があれば研修全体を看護の時間と認める

※看護の時間とは主に看護職の発表時間、対応時間を指す

挨拶は研修時間に含まれない

オリエンテーションや質疑応答は研修時間にカウントできるため時間は詳細に記載する

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」3時間以上研修

研修時間3時間以上のプログラム案

- ◆ 挨拶を抜いた研修時間が実質研修時間となり、研修時間が**3時間以上**で看護1群単位 **1単位**が取得できます
- ◆ 発表者が、「大学教授」「〇〇部長」「院長」であっても職種を記載してください
- ◆ 主催者代表が看護職以外の場合は全体の5割以上、看護職であれば3割以上に看護の時間があれば研修全体を看護の研修と認められます

プログラム作成時の注意

研修会タイトルに回数or年度、WEB等を記載する

プログラム上に記載されている演者・座長ほかすべての氏名、所属、職種を明記する

主催団体の代表者がjaden会員でない場合は、プログラムに、企画責任者として会員の氏名・職種を記載する
※参加証も同様に記載する

主催・共催を明記する

プログラムの一例

研修会タイトル
例①：第〇回糖尿病看護研修会またはWEB研修会
例②：令和〇年度糖尿病看護研修会またはWEB研修会

日時：20XX年or令和X年〇月〇日〇曜日
9時30分～13時00分
会場：〇〇〇〇会議室やホールなど
参加費：〇〇〇円 or 無し
定員：〇〇〇名（先着順・〆切日を添える）

スケジュール

総合司会： 〇〇病院（施設名）（職種）氏名

開会挨拶：時間（9時30分～9時40分）
所属施設名・職種・氏名

講演1：時間（9時40分～11時10分）
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・職種・氏名
休憩：11時10分～11時20分

講演2：時間（11時20分～12時50分）
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・職種・氏名

閉会挨拶：時間（12時50分～13時00分）
所属施設名・職種・氏名

【共催】
〇〇県糖尿病看護の会／日本糖尿病教育・看護学会
〇〇株式会社 など
企画責任者： 所属施設・職種・氏名

看護の時間の考え方

主催者代表が看護職以外は全体の5割以上、看護職であれば全体の3割以上に**看護の時間**があれば研修全体を**看護の時間**と認める

※**看護の時間**とは主に看護職の発表時間、対応時間を指す

看護職以外の職種も必ず記載する
発表者が、「大学教授」「〇〇部長」「院長」など役職では職種が分からない

挨拶は研修時間に含まれない
オリエンテーションや質疑応答は研修時間にカウントできるため時間は詳細に記載する

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」グループワーク編

- ◆看護職が講演を行っている時間のみが**看護の時間**と認められ座長は**看護の時間**とカウントできません
- ◆グループワーク・演習などの場合は進行およびまとめは看護職が実施し、参加者8名に対し1名以上の看護職のファシリテータを置きます
- ◆複数の事例提供者がいる場合は、必ず看護職の事例提供者が必要であり、他職種のための事例提供では看護の時間とカウントされません
- ◆効果的な学びになるよう、適度に休憩時間を入れることを推奨します

プログラム作成時の注意

効果的な学びになるよう、適度に休憩時間を入れることが望ましい

グループワーク・演習などの場合は以下の2点を満たす必要がある

- ①進行およびまとめは看護職が実施する
- ②参加者8名に対し1名以上の看護職のファシリテータを置く

プログラムの一例

研修会タイトル

例①：第〇回糖尿病看護研修会またはWEB研修会
例②：令和〇年度糖尿病看護研修会またはWEB研修会

日 時：20XX年or令和X年〇月〇日〇曜日
XX時XX分～XX時XX分
会 場：〇〇〇〇会議室やホールなど
参加費：〇〇〇円 or 無し
定 員：〇〇〇名（先着順・〆切日を添える）
プログラム

総合司会： 〇〇病院（施設名）（職種） 氏名

開会挨拶：時間（XX時XX分～XX時XX分）
所属施設名・職種・氏名

教育講演：時間（XX時XX分～XX時XX分）
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・**看護師**・氏名
休憩：（XX時XX分～XX時XX分）

【事例検討】（グループワーク）：時間（XX時XX分～XX時XX分）
進行：施設名・職種・氏名
ワークテーマ「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
事例提供：所属施設名・職種・氏名
ファシリテーター（〇名）氏名・職種
事例説明：（XX時XX分～XX時XX分）
検討時間：（XX時XX分～XX時XX分）
発表：（XX時XX分～XX時XX分）
まとめ（講評）：（XX時XX分～XX時XX分）

【シンポジウム】時間（XX時XX分～XX時XX分）
司会：施設名・職種・氏名
テーマ「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・**看護師**
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・**検査技師**
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・職種
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・職種

閉会挨拶：時間（XX時XX分～XX時XX分）
所属施設名・職種・氏名

企画責任者： 所属施設・職種・氏名

【共催】
〇〇県糖尿病看護の会／日本糖尿病教育・看護学会
〇〇株式会社 など

看護の時間の考え方

複数の事例提供者がいる場合は、必ず看護職の事例提供者が必要であり、他職種のための事例提供では看護の時間とカウントされない

看護職が講演を行っている時間のみが**看護の時間**と認められる

看護職以外の講演時に看護職が座長を行っても**看護の時間**とカウントできない

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」シンポジウム編

- ◆ シンポジウムの場合、各発表時間を記載します
- ◆ シンポジウムでは、看護職以外の発表時間は看護の時間とカウントできません
- ◆ また、全体ディスカッション時間がある場合は、
 $\text{全体時間} \div \text{発表者人数} \times \text{看護職人数} = \text{看護の時間}$ と計算します

プログラム作成時の注意

シンポジウムの場合、各発表時間を記載する

※全体ディスカッションがある場合は、その時間も詳細に記載する

プログラムの一例

研修会タイトル
例①：第〇回糖尿病看護研修会またはWEB研修会
例②：令和〇年度糖尿病看護研修会またはWEB研修会

日 時：20XX年or令和X年〇月〇日〇曜日
XX時XX分～XX時XX分
会 場：〇〇〇〇会議室やホールなど
参加費：〇〇〇円 or 無し
定 員：〇〇〇名（先着順・〆切日を添える）

プログラム

総合司会： 〇〇病院（施設名）（職種）氏名
開会挨拶：時間（XX時XX分～XX時XX分）
所属施設名・職種・氏名

教育講演：時間（XX時XX分～XX時XX分）
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・**看護師**・氏名
休憩：（XX時XX分～XX時XX分）

【事例検討】（グループワーク）：時間（XX時XX分～XX時XX分）
進行：施設名・職種・氏名
ワークテーマ「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
事例提供：所属施設名・職種・氏名
ファシリテーター（〇名）氏名・職種
事例説明：（XX時XX分～XX時XX分）
検討時間：（XX時XX分～XX時XX分）
発表：（XX時XX分～XX時XX分）
まとめ（講評）：（XX時XX分～XX時XX分）

【シンポジウム】時間（XX時XX分～XX時XX分）
司会：施設名・職種・氏名
テーマ「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・**看護師**
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・**検査技師**
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・職種
（XX時XX分～XX時XX分）所属・氏名・職種

閉会挨拶：時間（XX時XX分～XX時XX分）
所属施設名・職種・氏名

企画責任者： 所属施設・職種・氏名

【共催】
〇〇県糖尿病看護の会／日本糖尿病教育・看護学会
〇〇株式会社 など

看護の時間の考え方

シンポジウムでは、看護職以外の発表時間は看護の時間とカウントできない

また、全体ディスカッション時間がある場合は、
 $\text{全体時間} \div \text{発表者人数} \times \text{看護職人数} = \text{看護の時間}$ と計算する

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」サテライト編①

◆ サテライト方式の研修会も、本会場およびサテライト会場ともに単位取得が可能です

◆ サテライト会場には本会場との質疑応答ができ、かつ機器故障時の対応ができる責任者の配置が必要です

◆ 機器の故障などで本会場との通信が途絶えた場合の措置として、サテライト会場において講演を行い研修時間を担保します。

プログラム作成時の注意

サテライト方式の場合は以下の2点を満たす必要がある

- ① サテライト会場に責任者を置き、本会場との質疑応答ができること
- ② 機器故障時の対応者が配置されていること

申請時に対応方法も申告する
例)
機器故障で、復旧が難しいと判断した場合、同職種が代理で講演する

プログラムの一例

研修会タイトル

- 例①：第〇回糖尿病看護研修会またはWEB研修会
例②：令和〇年度糖尿病看護研修会またはWEB研修会

日 時：20XX年or令和X年〇月〇日〇曜日
XX時XX分～XX時XX分
会 場：本会場〇〇会場 全国のサテライト会場
参加費：〇〇〇円 or 無し
定 員：本会場〇〇名 サテライト会場〇箇所 各定員〇〇名
(先着順・〆切日を添える)

プログラム

総合司会： 〇〇病院（施設名）（職種）氏名

XX時XX分～XX時XX分 開会挨拶
所属施設名・職種・氏名

XX時XX分～XX時XX分：講演1
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・職種・氏名

XX時XX分～XX時XX分：休憩

XX時XX分～XX時XX分：講演2
座長：施設名・職種・氏名
タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」
演者：所属施設名・職種・氏名

XX時XX分～XX時XX分：質疑応答

XX時XX分～XX時XX分：閉会挨拶
所属施設名・職種・氏名

企画責任者： 所属施設・職種・氏名

各サテライト会場の責任者一覧

各会場ごとに質問の取りまとめを行い本会場と質疑応答のやり取りおよび機材トラブル時の対応者を配置しています

- ①北海道（札幌会議場）：〇〇病院 看護師 〇〇花子
- ②東北（青森会議場）：〇〇大学 看護師 〇〇太郎
- ③関東（東京会議場）：〇〇病院 看護師 松〇聖〇
- ④関西（大阪会議場）：〇〇医院 看護師 〇森〇菜
- ⑤九州（福岡会議場）：〇〇大学 看護師 糖〇教〇

【共催】

〇〇県糖尿病看護の会／日本糖尿病教育・看護学会
〇〇株式会社 など

看護の時間の考え方

参加対象者が看護職のみの研修会の場合、質疑応答も回答者が看護職となり、**看護の時間**と認められる

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」サテライト編②

◆ サテライト方式の研修内容にグループワークを含む場合プログラム上には、本会場・サテライト会場の参加定員と、各会場のファシリテータを明記します

◆ 表面に記載できない場合は裏面を活用します

◆ 看護職対象の研修会の場合、質疑応答も看護の時間と認められます

プログラム作成時の注意

サテライト方式でグループワークを含む研修会の場合も以下の2点を満たす必要がある。

- ①サテライト会場に責任者を置き、本会場との質疑応答ができること
- ②機器故障時の対応者が配置されていること

申請時に対応方法も申告する

例)
機器故障で、復旧が難しいと判断した場合、同職種が代理で講演する

各会場に参加者8名に対し1名以上の看護職のファシリテータを置く

プログラムの一例（表面）

研修会タイトル

例①：第〇回糖尿病看護研修会またはWEB研修会

例②：令和〇年度糖尿病看護研修会またはWEB研修会

日 時：20XX年or令和X年〇月〇日〇曜日

XX時XX分～XX時XX分

会 場：本会場〇〇会場 全国のサテライト会場

参加費：〇〇〇円 or 無し

定 員：本会場〇〇名 サテライト会場〇箇所 各定員〇〇名
(先着順・〆切日を添える)

プログラム

総合司会： 〇〇病院（施設名）（職種） 氏名

XX時XX分～XX時XX分：開会挨拶

施設名・職種・氏名

XX時XX分～XX時XX分：講演

座長：施設名・職種・氏名

タイトル「〇〇〇〇～〇〇〇〇」

演者：施設名・職種・氏名

XX時XX分～XX時XX分：休憩

XX時XX分～XX時XX分：グループワーク

司会：施設名・職種・氏名

テーマ「〇〇〇〇～〇〇〇〇」

本会場 グループワークファシリテータ

・氏名・職種
・氏名・職種

・氏名・職種
・氏名・職種

サテライト会場については裏面をご覧ください

XX時XX分～XX時XX分：質疑応答

施設名・職種・氏名

XX時XX分～XX時XX分：閉会挨拶

施設名・職種・氏名

企画責任者： 施設名・職種・氏名

【共催】

〇〇県糖尿病看護の会／日本糖尿病教育・看護学会

〇〇株式会社 など

看護の時間の考え方

参加対象者が看護職のみの研修会の場合、質疑応答も回答者が看護職となり、**看護の時間**と認められる

「プログラム作成時の注意」と「看護の時間の考え方」サテライト編③

- ◆ グループワークを含む場合、プログラム裏面に各サテライト会場の参加定員と、すべてのファシリテータを明記します
- ◆ 表面もしくは裏面に、サテライト会場の責任者の役割を明記します

本会場との質疑応答
ができることを
記載する

研修にグループワークを含む場合、プログラム裏面を利用しメイン会場同様、サテライト会場の参加定数と、各会場のファシリテータを明記する

プログラムの一例（裏面）

サテライト会場

各会場ごとに質問の取りまとめを行い、本会場と質疑応答のやり取りを行います

機器故障時には、各会場責任者（◎印）が対応します

①北海道会場 札幌会議場 定員：〇名 ファシリテーター：〇名

◎・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種

②東北会場 青森会議場 定員：〇名 ファシリテーター：〇名

◎・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種

③関東会場 東京会議場 定員：〇名 ファシリテーター：〇名

◎・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種

④関西会場 大阪会議場 定員：〇名 ファシリテーター：〇名

◎・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種

⑤九州会場 福岡会議場 定員：〇名 ファシリテーター：〇名

◎・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種
・氏名	・職種	・氏名	・職種

申込方法

受付期間

・
・
・

共催研修を企画するには 申請アルゴリズム（共催申請）を確認

- ◆ 主催者申請の考え方として、研修を主催する団体は、参加証に押印するための、団体名の印鑑を持つ必要があります
- ◆ 共催申請の考え方として、研修を主催する団体は、7つの基準すべてを満たしている必要があります
- ◆ 共催申請は主催者申請に比べて、共催申請では、取得単位が2倍となりより多くの単位が取得できます

1群単位取得のための看護研修会申請アルゴリズム(共催申請)

主催者研修の2倍の単位が申請できます。

認定基準 1～7をすべて満たしているか

- 共催基準1
- 1 団体の代表者が日本糖尿病教育・看護学会正会員であり、看護職である
 - 2 会則または規約があり、会の目的に看護職の知識・技術の向上に資する内容が含まれる
 - 3 役員名簿がある
 - 4 年会費または参加費を徴収している
 - 5 収支報告を行っている
 - 6 年1回以上、研修会などの行事を開催している
 - 7 企業が共催する場合、その企業は日本糖尿病教育・看護学会の賛助会員である

YES

当学会との共催申請可

NO

共催申請対象外

主催者研修申請を検討ください

実質研修時間に応じて、以下の単位で申請可

1.5時間以上3時間未満	1単位
3時間以上4.5時間未満	2単位
4.5時間以上6時間未満	3単位
6時間以上	4単位

共催研修申請の詳細は[こちら](#)

研修会企画後は単位申請手続きへ「システムの入力」

日本糖尿病教育・看護学会
ホームページへ
入ります

ここをクリック



一般社団法人
日本糖尿病教育・看護学会
Japan Academy of Diabetes Education and Nursing

- 学会概要 +
- 学術集会・研修会 +
- 研修会を企画している方へ +**
- お知らせ
- 各種活動 +
- 学会誌・刊行物 +
- 調査・研究 +
- 資料ダウンロード +
- 一般の方へ(準備中)
- Q&A

マイページ | オンライン登録 | オンライン投稿

検索

日本糖尿病教育・看護学会
「5か年計画重点目標」と「糖尿病教育・看護の核となる機能」
5か年計画重点目標 **"PRIDE"** 2022年～2026年



糖尿病教育・看護の核となる機能

1. 発達段階や病期に応じて、最新の知識と技術に応用した機能的な支援
2. その人の内在する力を活かした創造的な支援
3. その人らしさを支えるパートナーとしての役割発揮
4. 糖尿病医療における安全対策の推進
5. 未来に向けて地域全体でつなぎ、繋がる支援

第13期 JADEN将来検討委員会

お知らせ

2024.05.30 日本糖尿病教育・看護学会誌 第28巻1号 論文4本公開しました

主催申請・共催申請のいずれかをクリック

主催研修と共催研修
では条件や取得できる
単位数が違います

クリック後に条件が表示
されますので確認く
ださい

一般社団法人
日本糖尿病教育・看護学会
Japan Academy of Diabetes Education and Nursing

学会概要 +

学術集会・研修会 +

研修会を企画している方へ -

研修会を企画している方へTOP

CDEJ1群単位の申請方法について

主催者申請手続

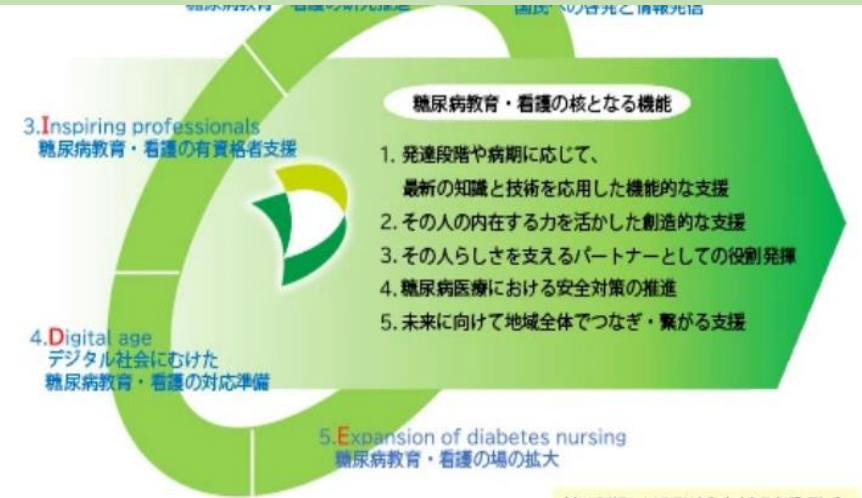
共催申請手続

認定申請に関するQ&A

一群単位申請方法のコツ～委
員会からのメッセージ～

糖尿病重症化予防（フットケア）

糖尿病透析予防支援 研修標準プ
ログラム



第13期 JADEN将来検討委員会



入会案内



学術集会



お知らせ

認定申請システムにログインします

認定申請システム 認証画面

Step-1: オンライン研修認定申請システムにログインするためのIDとパスワードをお持ちですか？

- 一般社団法人 日本糖尿病教育・看護学会の会員あるいは、非会員で本システムに登録済の方は「はい」を選択してください。
- 非会員で本システムに初めて登録される方は「いいえ」を選択してください。

はい、IDとパスワードは発行済です

いいえ、未発行です

ログインできない方はこちら

研修認定申請システム <社> 日本糖尿病教育・看護学会>

本システムは日本糖尿病療養指導士認定更新のための第1群看護の研修会の認定審査の申請を行うためのシステムです。

会員の方はご自分の会員IDとパスワードを使ってログインしてください。

※会員IDとは会員番号のことです。

※パスワードをお忘れの方は画面上部の【ログインできない方はこちら】のボタンをクリックしてください。

«会員番号・パスワードをお忘れの場合»

1) パスワードをお忘れで、会員登録メールアドレスがご利用になれる方

・本ページの右上の「**ログインできない方はこちら**」ボタンより、会員番号と会員原簿にご登録済みのメールアドレスにより**パスワード再発行手続き**をご利用ください。

2) 会員番号をお忘れの場合および会員登録メールアドレスがご利用になれない方

・本ページの右上の「**ログインできない方はこちら**」ボタンよりお進みいただき、パスワード再発行画面下部の「**会員ID・パスワード再発行フォームへ**」のリンクから、問い合わせフォームへお進みください。

・問い合わせフォームでは、本人確認の必要上、フォーム上の必要情報を必ずご入力の上、情報を送信してください。

注意) 個人情報の取扱について

株式会社ガリレオは、個人情報を大切に保護することは当然の社会的責務であることを充分認識し、すべての役員および従業員が個人情報保護に関する法令およびJIS Q 15001に準拠して定める個人情報保護に関する当社の



ここをクリックしてログイン

認定申請システム メニュー画面から 主催研修・共催研修を選択します

■ 認定申請システム メニュー画面

ログインが完了しました

会員ID

申請者氏名

会員種別

正会員

■ 現在申請中および承認済みの認定申請

申請内容の照会、修正、取消、および実施報告（必要な場合のみ）の登録を行う場合は対象となる研修会等の横のボタンをクリックしてください。

※実施報告済みおよび取消済、否認された認定申請は表示されません。表示されたい場合は、下記のチェックボックスにチェックを入れて、「再表示」ボタンをクリックしてください。

☐ 実施報告済および取消済、否認の認定申請を表示する

再表示

認定種別 看護関係研修会認定申請（主催者用）

認定種別 看護関係研修会認定申請（共催用）

申請ID 状況 研修会等の名称 実施日程 主催団体名

申請更新

取消

ここをクリックして認定
種別を選択する

■ 新規申請の登録

認定種別を選択し、下記の「新規申請の登録」ボタンをクリックして、必要情報の登録およびアップロードを行ってください。

認定種別

新規申請の登録



前の画面へ

ログアウト

メニュー画面へ戻る

申請を中止してホームページに戻る

申請に必要な情報を入力します

■ 新規申請の登録

下記の全ての情報を入力し、画面下部の【入力内容の確認】ボタンをクリックしてください。

※印の項目は、必須入力項目です。

■ Step-1：申請情報の入力

【申請に関する情報】 担当者の情報は原簿情報からコピーされています。

認定種別 (主催者用)

担当者

担当者所属先 ※

医療法人三幸会さつき内科クリニック

担当者メールアドレス ※

予備メールアドレス

hiromu721624@ybb.ne.jp

オンライン登録完了メールの送付先アドレスを右のプルダウンから選択してください。

【申請者に関する情報】

申請者会員ID

申請者の確認

共催企業担当者が申請者となる場合、共

申請者氏名

申請者所属先

【研修会等に関する情報】

研修会等の名称 ※

主催団体名 ※

主催団体代表者名 ※

代表者役職 ※

※会長、代表世話人等

企画責任者名

共催・後援・協賛予定

実施予定日時 ※

日付： 時間： ～ 日付： 時間：

※日付は「YYYYMMDD」、時間は「HHMM」の形式で入力してください

必須入力項目

- 担当者所属先
- 研修会等の名称
- 主催団体代表者名
- 実施予定日時
- 担当者メールアドレス
- 主催団体名
- 代表者役職

実質研修予定時間 ※ 時間 分

研修会場 ※
(会場住所を含む)
会場名:
都道府県:

参加人数 (概数) ※ 人

参加費 ※

主な対象者 (職種等)

備考・特記事項

研修会の概要

HPに掲載可能な研修会の問い合わせ先 ※

※(1)担当者所属先 (2)担当者氏名 (3)TEL (4)FAX (5)E-Mail

主催団体代表者職種 ※

※看護師、医師、管理栄養士

出席確認方法 ※

オンライン研修の場合、当日の出席確認方法について、記載してください。※オンライン研修ではない場合は、「オンライン研修ではない」とご記入ください

入力内容の確認

必須入力項目

- 実質研修予定時間
- 参加人数 (概数)
- HPに掲載可能な研修会の問い合わせ先
- 主催団体代表者職種
- 出席確認方法
- 研修会場
- 参加費

オンライン研修の場合

当日の出席確認方法について記載が必要です

おわりに

◆ 看護師を対象とした研修会を企画される場合は、ぜひ日本糖尿病療養指導士認定更新のための第1群看護の研修会の単位申請につなげていただければと思います

◆ 日本糖尿病教育・看護学会のホームページでは、認定申請に関するQ & A も掲載していますので、参考にしてください

研修会を企画している方へ

[TOP](#) / 研修会を企画している方へ

研修会を企画している方へ ~CDEJ1群単位の申請方法について~

看護研修会の主催者申請

看護研修会の共催申請

認定申請に関するQ&A

